教育委員会 マネジメント方針

教育委員会では市長との政策協議のもと、次のとおり基本方針・組織目標・行動目標を 定めました。この方針に基づき目標の達成に向け着実に取り組みます。

令和4年4月1日

教育長

吉川雄二



教育部長 林 俊 宏



【基本方針】

少子高齢化の進行、グローバル化の進展やデジタル社会の到来など、社会情勢が急激に変化する中、これからも、すべての人が夢や希望を持って健やかに暮らすために、子どもから高齢者まで誰もが学習やスポーツに取り組めるよう、生きがいを持って暮らすことのできる環境を整備します。

また、子どもたちが生き生きと学校生活を送り、未来を切り拓くために必要な資質や能力を身に付けるため、学校教育の充実を図ります。併せて、地域の特性を考慮しながら、 今後の本市としての学校のあり方について、引き続き検討していきます。

さらに、本市の伝統行事や建造物、史跡などの豊かな歴史・文化に育まれた数多くの文 化財を継承し、福井の誇りとして活用します。

これらの取組により、全国に誇れる教育環境をさらに充実させ、「みんなが学び成長するふくいの教育」の実現を目指します。

【組織目標】

- I. 児童生徒をきめ細かに支援し、子どもたちが生き生きと学校生活を送るための充実し た学校教育を行います
- Ⅱ. 学校における安全対策を充実し、食育と運動部活動、体力向上を推進して、子どもたちの心身の健全な発達に努めます
- Ⅲ. 家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます
- IV. 安全で快適な学習環境を整えるために、施設の整備・改修を進めます
- V. 市民一人ひとりの自主的な学習活動を支援し、市民憲章運動を進めます
- VI. 生涯スポーツの推進やスポーツ施設を整備し、市民の豊かなスポーツライフを支援します
- VII. 歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用します

【行動目標】

組織目標 I 児童生徒をきめ細かに支援し、子どもたちが生き生きと学校生活を送るための 充実した学校教育を行います

行動目標 SDGs 指標

1 学力充実のための教育活動

生活や学習に必要な知識や技能の習得、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成、学びを人生や社会に活かそうとする学びに向かう力や人間性等の涵養を目指します。

また、必要に応じてオンラインなども活用し多様な他者との対話・協働を 充実させ、身につけた力を活用・発信できる児童生徒を育成する教育を進め ます。



授業を理解している子どもの割合(※):

小学校 93.1% (3 年度) → 93.5% (4 年度) 中学校 86.9% (3 年度) → 87.5% (4 年度)

※ 福井市小中学校学校評価調査項目「授業がよくわかる」に対して「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した児童生徒の割合

2 豊かな心の教育の推進

次代を担う子どもたちが社会の一員としての自覚をもつために、多様な 人々との関わりや自然とのふれあいなどの様々な体験を通して、豊かな心の 醸成を図ります。



道徳の時間に自分の考えを深めていると回答した子どもの割合(※):

小学校 90.5% (3 年度) → 91.0% (4 年度) 中学校 92.9% (3 年度) → 93.5% (4 年度)

人権教育への計画的な取組の実施校数 : 全小中学校 自然や文化・芸術に触れる体験活動の実施校数 : 全小中学校

※ 福井市小中学校学校評価項目「道徳の時間には、考えを深めることができている」に「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した児童生徒の割合



町の宝はっけん (地域とかかわる取組)

3 キャリア教育の充実

子どもたちが夢や希望をもって、地域や社会に貢献できる人材になるために、全ての教育活動や地域、企業等との関わりを通して、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力の育成を図ります。



総57 将来の夢や目標をもっている児童の割合(小学校)(※) :

81.9% (3年度) → 89% (4年度)

総58 将来の夢や目標をもっている生徒の割合(中学校)(※):

67.2% (3 年度) → 76% (4 年度)

※ 全国学力・学習状況調査項目「将来の夢や目標を持っていますか」に「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童生徒の割合



異文化理解に関する授業(キャリア教育)

4 多様な子どもたちへの支援の充実

特別支援教育を推進するとともに、不登校やいじめなどの問題の解消、必要に応じてオンラインを活用した多様な子どもたちへの支援など、子どもたちや保護者が抱える様々な問題に対応するための支援体制の充実を図ります。



校内支援委員会の実施校 : 全園小中学校

学校不適応対策事業推進会議の実施回数 : 年3回

「いじめ防止基本方針」の点検・見直しの実施校数 : 全小中学校

5 ICTを活用した教育の推進 DX

|人|台の端末を効果的に活用し、子どもたちの能力を最大限に引き出すとともに、ICTを利用した学習やプログラミング教育を通し、子どもたちがロボットやAIを活用する新しい社会(Society5.0)で活躍できる力を育成します。

また、校内の無線LAN環境を整えるとともに、ネットワーク機器やサーバの更新を進め、I人I台端末を活用できる高速で強靱なネットワーク環境を構築していきます。

さらに端末の整備・更新を進め、快適にICTを活用した学習ができる環境を整備します。

ICTを活用した授業を公開した学校数 : 全小中学校

小学校5年生でプログラミングの授業をした学級数 : 全学級

教職員用タブレット整備率 : 32% (3年度) → 100% (4年度)



タブレット端末を活用した授業

6 知教職員の資質向上の推進

学校教育に携わる教職員の資質向上を目指して、教職員研修(※)の充実を図ります。

研修の事後アンケートで「たいへん有意義」と回答した教職員の割合 : 77.6%(3年度) → 78%(4年度)

- ※ 市が主催する目的別研修(約30講座) 主な研修
 - ・イングリッシュサロン
 - ・防災教育「まもるいのち ひろめるぼうさい」
 - ・食を考える 給食づくりに挑戦「The 和食!」



行動目標	SDGs 指標
11年/107末	1 JUUS 11177

7 新学校規模の適正化

福井市学校規模適正化検討委員会からの答申の提言を軸に、保護者や地域 と協議を行い、合意形成を図りながら進めていきます。

今年度は、合意形成の図られた北部地域(森田・河合両地区)における学校の規模適正化を図るため、北部地域学校規模適正化基本計画に基づく学校施設の整備に取り組むとともに、新設される中学校の校区を決定します。

また、併せて殿下地区における中学校の校区や通学手段等の検討を行ってまいります。



北部地域新中学校整備に伴う設計の着手 : 7月

北部地域新中学校の校区決定



組織目標Ⅱ 学校における安全対策を充実し、食育と運動部活動、体力向上を推進して、子ど もたちの心身の健全な発達に努めます

行動目標

SDGs 指標

8 通学環境の整備及び安全対策の充実

通学路の安全を図るため、福井市通学路安全推進会議(※)において、交通安全・防犯・防災の3つの観点から通学路の合同点検や危険箇所の改善を 実施し、児童生徒が安全・安心に登下校できるよう通学環境を整えます。



通学路安全推進会議の開催及び交通安全・防犯・防災の合同点検の実施 :会議3回、合同点検1回



※ 通学路の安全対策について、関係機関の連携を図るため、道路管理者、警察、 学校関係者等で構成している会議

近年、子どもの体力低下が懸念されている中、さらに新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛等で体力の低下が見られることから、各学校で始業前、業間を利用した運動(※I)を積極的に実施します。

視力については、春の定期健診に加えて秋にも各学校において視力追加検診を実施します。また、児童生徒が自ら視力低下防止に取り組むために眼科医監修のもと長期休業中に活用する「目の健康カード」(※2)を作成し取組を推進します。





総59 肥満傾向にある児童の割合(※3): 8.1%以下

※1 始業前、業間を利用した運動

朝の活動時や2校時後等に、マラソンやなわとび等の、児童生徒の基礎体力の向上などを行う運動や外での自由遊びや縦割り活動での異学年交流遊び等に取り組む活動

※2 目の健康カード

運動、姿勢、スクリーンタイム (パソコン等の画面を見る時間)等の生活 をチェックするカード

※3 児童の割合

肥満度 20%以上の児童数/全児童数



業間等を利用した体操の実施

10 中学校運動部活動の充実

中学校における休日の部活動を段階的に地域への移行を進めることにより、持続可能な部活動と教員の負担軽減を図るため、休日の部活動の地域移行(※)に向けてモデル校を選定して、各校の実情に応じた課題の整理や今後の在り方の研究を行います。



4 質の高い教育を みんなに

市内モデル校における休日運動部活動の地域移行実施研究:モデル | 部活動

※ 運動部活を地域のスポーツクラブや民間事業者、保護者等の団体が主体となって行う活動に移行していくこと







中学校における部活動風景

11 楽しくおいしい学校給食の実施

栄養教諭・学校栄養職員との連携を図り、地場産食材を使用した「ふくい」の食を取り入れることで、子どもたちが「ふくい」の食への愛着を深めるとともに、食育を推進するため、安全・安心でおいしい給食を提供します。

福いいネ!給食・ふるさと給食等の実施:年間 10 回

姉妹都市・友好都市記念事業給食及びホストタウン交流給食:年間3回



姉妹都市及び友好都市締結記念事業やホストタウン交流にちなんだ給食、子供たちが喜ぶメニューに地場産食材を多く取り入れた給食の提供を実施する。

(実施予定) 令和4年4月 ふるさと給食

(地場産食材や郷土料理を取り入れた和食給食)

- 5月 ふるさと給食
- 6月 朝倉ゆめまるランチ
- 7月 ホストタウン交流給食・ふるさと給食
- 9月 ふるさと給食
- 10月 姉妹都市締結 40 周年記念給食(アメリカニューブランズウィック市)
- 11月 友好都市締結 20 周年記念給食 (茨城県結城市)
- 11月 福いいネ!給食

(地場産食材を取り入れた子供たちが喜ぶ給食)

- 12月 ふるさと給食
- 1月 ふるさと給食
- 2月 ふるさと給食
- 3月 ふるさと給食
- ※ 朝倉ゆめまるランチ・ 福いいネ!給食

子供たちが喜ぶメニューに郷土の食材を積極的に活用した、おいしく楽しい給食 を実施する。

12 学校給食施設の充実

子どもたちに安全・安心でおいしい学校給食を将来に渡って安定的に提供していくため、新たな学校給食センターをPFI方式(※1)により整備します。新学校給食センターでは、ドライシステム(※2)の導入や衛生区分の明確化により、徹底した衛生管理を行います。また、食物アレルギー専用調理室を設置し、食物アレルギーに対応した給食を提供します。

単独調理校の整備については、食中毒防止や労働環境の改善を図るため、給食室に空調設備を設置します。





新学校給食センターの設計完了および工事着手: |2 月頃 単独調理校の空調整備:中藤小学校給食室: 8 月完了

※1 PFI方式

公共施設等の整備・運営を行うにあたり、設計・建設から、その後の維持管理、 運営までの業務を、長期間にわたり一括して民間事業者に委ねる事業手法 民間事業者が持つ経営能力や技術的能力などを活用し、従来手法(公共工事)に 比べて、少ない財政負担でより良い住民サービスを提供することを目指す。

※2 ドライシステム

古い厨房施設に見受けられる床が水浸しになっている方式(ウェットシステム)ではなく、床に水を流さずに乾いた状態で調理や洗浄を行う方式。高温多湿による細菌やカビの繁殖を抑制し、跳ね水による二次汚染を防ぐことができる。



新学校給食センターイメージ図

組織目標Ⅲ 家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます

行動目標

SDGs 指標

13 放課後児童クラブの整備

共働き家庭や核家族が増加している中、放課後留守家庭児童を健全に育成するため、安全な生活の場と適切な遊びを提供し、保護者が安心して仕事に 専念できる環境を整えます。

また、放課後児童クラブの利用希望者が増加していることから、第二期子 ども・子育て支援事業計画に基づき、小学校の余裕教室や市有施設等を活用 した放課後児童クラブの整備と既存施設の老朽化対策を進めます。

さらに、放課後児童クラブの持続的な運営と質の高い児童への支援を確保 するため、職員の資質向上や課題解消に向けた対策に取り組みます。 **3** すべての人に 健康と編社を



放課後留守家庭児童の受入 : 100%

※ 受入率 (入会者数/入会希望を充たしている希望者数)

14 家庭や地域の教育力の向上

青少年の健全育成に向け地域の教育力を高めるため、地域教育力活性化事業(※I)や、PTA研究大会など、PTAと連携した取組を行います。

また、全ての公民館において、親子の成長や学びを支えるための「家庭教育事業(※2)」を実施し、家庭における教育力の向上を図ります。

4. 質の高い教育をみんなに



地域教育力活性化事業の実施 : 全5ブロック

家庭教育事業の実施 : 全公民館(一光公民館を除く)

※1 地域教育力活性化事業

地域社会における教育力の活性化を図るため、PTAが中核となって行う 家庭、学校及び地域の結びつきを深める事業

小中学校 71 校(福大付属、福井工大付属含む)の各単位 PTA を 5 つのブロック (エリア) に分け、それぞれのブロック単位で当該事業を実施

<事業例> 講演会、ふれあいコンサート、指導者研修会 など

※2 家庭教育事業

家庭や地域の教育力向上を図るため公民館が企画する講座や教室

<事業例> 講演会、子育て相談会、親子教室(親子体操、ベビーマッサー ジ)

15 情報モラル教育の推進 DX

情報社会において他者への影響を考え、自分の行動に責任をもつ考え方や 態度を養う情報モラル教育を推進し、生活習慣の乱れや犯罪被害の防止に努 めます。

また、ネットパトロールによるSNS上の不適切な書込みの早期発見に取り組みます。

情報モラル講習会の開催

:全小中学校(小学校52校、中学校28校)で開催

総60 「学校に行くのは楽しいと思う」と感じる児童の割合(※Ⅰ)

:小学生85.6%(3年度)→88.4%(4年度)

総61 「学校に行くのは楽しいと思う」と感じる生徒の割合(※2)

:中学生 82.1% (3年度) → 87.0% (4年度)

- ※1 全国学力・学習状況調査項目「学校に行くのは楽しい」「どちらかといえば楽 しい」と回答した児童数/市内小学6年生
- ※2 全国学力・学習状況調査項目「学校に行くのは楽しい」「どちらかといえば楽 しい」と回答した生徒数/市内中学3年生



小学校における「情報モラル講習会」の様子

16 青少年の健全育成の推進

「家族のふれあい」をテーマとした絵手紙コンクールを開催し、優秀作品 展を通して明るい家庭づくりを推進します。

また、青少年育成福井市民会議が行う「見守り活動」や「危険箇所点検」などの取組を積極的に情報発信し、地域における健全育成を進めます。

「家族ふれあい」絵手紙コンクールの優秀作品展示 :5回 ホームページにおける青少年育成福井市民会議活動の発信

: 17回(3年度) → 17回以上(4年度)



登校時の「見守り活動」の様子









組織目標IV 安全で快適な学習環境を整えるために、施設の整備・改修を進めます

行動目標

SDGs 指標

17 学校生活環境の整備

感染症対策と熱中症対策を両立し、児童生徒が安全で安心した学校生活を 送ることができるよう、普段使用する理科室などの特別教室の空調設備を整備します。

また、各学校の実情に応じ、校舎やトイレのバリアフリー化を進めます。

4 質の高い教育を みんなに

総62 特別教室における空調設備の整備率(※): 87.5%

※ 特別教室空調設備整備率(完了教室数/対象教室数)

普段使用する特別教室のうち、空調設備の整備が完了した特別教室数の割合

令和 3 年度実績 526/741 = 70.9% 令和 4 年度目標 649/741 = 87.5% 令和 5 年度目標 741/741 = 100%



特別教室へのエアコン整備

18 学校施設の安全対策(老朽化対策)

経年劣化等による外壁の落下を未然に防止するとともに、外壁補修後の塗装工事や屋上防水工事など、総合的な建物の予防保全対策を行い、施設の延命化を図ります。

また、学習環境の安全性の向上を図るとともに、学校の授業や行事、部活動等を円滑に行えるよう、校庭の整備を行います。

学校施設の予防保全対策実施校 : 5校 (外壁落下防止、外壁塗装、屋上防水工事) 校庭整備校数 : 1校





学校施設の改修工事(外壁落下防止工事)

組織目標V 市民一人ひとりの自主的な学習活動を支援し、市民憲章運動を進めます

行動目標

SDGs 指標

19 公民館事業の推進 DX

公民館では地域の特色を活かした、多様な学習ニーズや地域課題の解決を 重視した各種教育事業や自主グループ支援を実施するとともに、地域のコー ディネーターとして、人と人、人と地域を結ぶ活動の支援に努めます。

地域住民をつなぐとともに、新たな日常に対応するため、各種事業でオン ライン会議や動画配信などインターネットの活用を推進します。

また、市民が郷土福井に誇りと愛着を持つために、中央公民館や地区公民館で「福井学事業」に取り組み、次世代に継承します。





総 63 公民館利用者数

: 337,457 人 (3 年度) → 816,000 人 (4 年度)

インターネットを活用した事業件数

: 28回(3年度) → 33回(4年度)

中央公民館「福井学」講座 参加者数

: 634人(3年度)→ 660人(4年度)



インターネットを使った公民館講座

20 公民館施設の整備

公民館は、地域における生涯学習と地域コミュニティ活動の拠点としての 役割に加え、災害時の活動拠点としての機能を担っていることから、その機 能が発揮できるよう施設の整備を計画的に進めます。

公民館整備 : 2館

越廼公民館(長寿命化改修)・湊公民館(耐震補強・長寿命化改修)

公民館整備設計 : |館

東郷公民館(耐震補強・長寿命化改修)

公民館の耐震化率(※): 92.7% (3年度) →94.5% (4年度)

※ 公民館の耐震化率(耐震化済公民館数/全公民館数×100)



公民館整備の様子(長寿命化改修)

21 市民憲章運動の推進

市民憲章実践目標の更なる浸透を図るため、これまでの市民憲章唱和や福井市を美しくする運動(市民一斉清掃)の実施に加えて、学校への普及啓発を推進します。

市民憲章運動の普及啓発

支部活動の実施 : 全支部(49支部)

啓発グッズの配布 : 小中学生



啓発グッズ







22 読書活動の推進

子どもたちの読書活動を促進するため、小学校との連携活動や児童館や認定こども園等との交流に取り組みます。司書訪問による読み聞かせや図書館への訪問の受入などを行うほか、学校司書等に研修や相談を実施します。

また、市立図書館および田原町ミニ図書館では郷土に関する行事、みどり 図書館では子育て世代を対象とした企画、桜木図書館ではまちなかのにぎわ いをつくるイベントなど、各館の特色を生かした事業を実施します。

さらに、利用者がわかりやすく本を選び、新たな本に出会う機会を創出するため、 本を積極的に紹介する取組を実施し、読書活動を推進します。

小学校との連携活動

: 全小学校(3年度)→全小学校(4年度)

児童館や認定こども園等(※)との交流

: 190回(3年度)→195回(4年度)

各館の特色を生かした事業の実施

: 107回(3年度)→110回(4年度)

※ 児童館、放課後児童クラブ、認定こども園、幼稚園、障害者施設等



絵本や紙芝居の読み聞かせ会





23 図書館サービスの拡充 だいがい

快適な読書環境の整備に努め、図書館の利用を促進します。市立図書館においては、従来の「本を読む、借りる」機能に加えて、多くの市民が集い、 学習し、交流する施設を目指し、リニューアル工事に着手します。

また、市立図書館の休館中には、田原町ミニ図書館を開設するほか、移動図書館サービスの拡充を図るなど、利用者サービスの維持に努めます。

利用者アンケートの実施をはじめ、様々な機会に利用者のニーズを把握することで効果的なサービスの提供に努め、利用満足度の向上を図ります。

市立図書館リニューアル事業 : 10月着工

移動図書館を活用した訪問イベント数

: 10 カ所

図書館利用満足度(※)

: 89.2% (3年度) → 89.3% (4年度)

※ 利用者アンケートで、「満足」および「やや満足」の回答数/全回答数



リニューアル後のイメージ図



組織目標VI 生涯スポーツの推進やスポーツ施設を整備し、市民の豊かなスポーツライフを 支援します

行動目標

SDGs 指標

24 体育施設の整備 だ 助-ボン

市民が安全安心で気軽にスポーツを楽しむことができるよう、体育施設の 維持管理に努めます。

スポーツ環境の改善を図るため、既存施設の改修を進めるとともに、競技 人口や環境の変化などニーズに応じた体育施設の整備を行っていきます。

体育施設のLED化は、西・南体育館の照明設備をLEDに更新していきます。また、フットボールセンターは、クラブハウスの建築工事に着手します。



総64 市体育施設利用者数

: 633,382 人 (3 年度) →820,000 人 (4 年度)

西、南体育館アリーナ照明設備LED化の完了

クラブハウス建築工事の着手:8月



フットボールセンター完成イメージ図

25 スポーツを楽しむ環境づくり

スポーツ教室やファミリーミニマラソン大会を開催するなど、運動やスポーツを楽しめる機会の充実に努めます。

「ふくい桜マラソン」は、実行委員会に移行し、各種詳細計画を策定します。また、本大会に向けた機運醸成とランニング人口の拡大に繋げるため、ファンランイベントやランニング教室、I年前プレ大会などを実施してまいります。



スポーツ教室の参加延べ人数

: 3,354 人(3年度) → 3,500人(4年度)

I年前プレ大会「ふくい桜マラソン TRIAL RUN 2023」の参加者数

: 5,000人



「ふくい桜マラソン TRIAL RUN 2022」 (2年前イベント)の様子

組織目標VII 歴史や文化遺産を保存・継承し、福井の誇りとして活用します

行動目標

SDGs 指標

26 文化財の保存・継承

文化財が将来に受け継がれるよう、所有者や保存団体が行う、文化財の保 存修理事業や後継者育成に伴う取組等を支援します。

また、文化財の計画的な保存修理を進めるとともに、災害時における状況にも対応できるよう、計画的に文化財を調査・記録し、保存・継承します。





市指定文化財の保存状態調査 : 28件(史跡、天然記念物)



国指定無形民俗文化財「睦月神事」

27 新地域と連携した文化財の活用

地域と連携して、文化財の発掘調査や展示会等を行うことで、住民が郷土 の歴史文化や伝統を体感し、理解を深める機会を創出します。

また、住民自らが取り組む学習会等において、文化財の活用を促進するため、収蔵資料の再整理を行います。





城山(南居城山)の発掘調査・保存・整備

「とことん昔ぐらし 古民家に来てみんか」の開催 :10月



おさごえ民家園の「昔のくらし体験」